

都市再生整備計画（雀宮駅周辺地区）の概要

- ・本地区は、JR宇都宮駅から南に約8kmのJR雀宮駅周辺に位置し、南北に走るJR宇都宮線と国道4号を軸に商店街や住宅系市街地が形成された都市的土地利用が進んでいる。
- ・しかしながら近年、駅利用者が減少傾向にあるとともに、駅周辺においては駅前広場や周辺道路の整備が不十分なため、通勤・通学時間帯には自動車・歩行者、自転車が錯綜し危険な状態にあり、交通結節機能や交通利便性の向上が求められていた。また、雀宮地区市民センターにおけるホールや会議室の稼働率は高く、市民活動が活発な地区であるにも関わらず、文化施設などの公共施設が少ない状態にあり、活発な市民活動や芸術活動へ対応できる環境整備などが求められていた。
- ・このため、平成19年度にまちづくり交付金の採択を受けるとともに「第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」において、本地区を地域交流拠点として位置づけ、事業の推進を図っているところである。

（1）計画概要

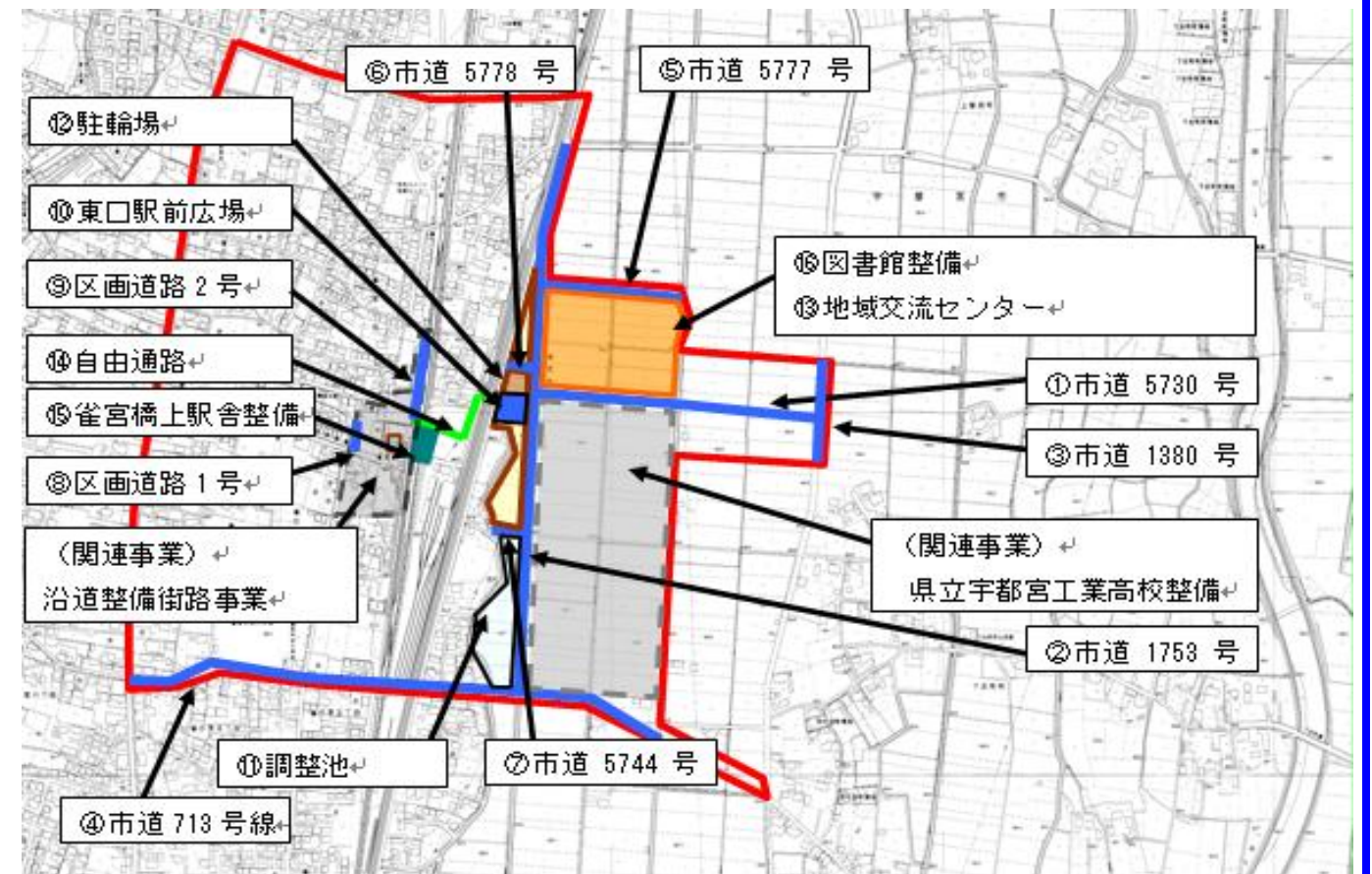
- 【地区名】雀宮駅周辺地区
- 【面積】65.1ヘクタール
- 【交付期間】平成19年度～平成23年度
- 【交付対象事業費】約87億8千万円（国費率33%）
- 【区域】雀の宮1・3・5丁目、雀宮町、下反町町、上御田町の各一部

（2）まちづくりの目標

- 【大目標】
駅機能の強化や文教施設の機能集積を図ることで、宇都宮市南部の都市拠点にふさわしいまちを形成する。
- 【小目標】
 - ・地区の玄関口となる駅関連施設等の整備をすることにより、雀宮駅を中心とした利便性と安全性の高まった多様な都市機能を備えた地域核拠点を形成する。
 - ・駅周辺の道路・踏切・東口駅前広場等の基盤整備を実施することにより、駅へのアクセス性、交通安全性、快適性を向上させる。
 - ・駅東口に文教施設を中心とした都市機能の集積を図ることにより、図書館利用の機会均等化や地域の交流・生涯学習活動の支援・育成等を図る。

（3）事業

- 【道路】市道5730号線【右図①】、市道1753号線【右図②】、市道1380号線【右図③】、市道713号線【右図④】、市道5777号線【右図⑤】、市道5778号線【右図⑥】、市道5744号線【右図⑦】、区画道路1号【右図⑧】、区画道路2号【右図⑨】
- 【地域生活基盤施設】東口駅前広場【右図⑩】、調整池【右図⑪】、駐輪場【右図⑫】
- 【高次都市施設】地域交流センター【右図⑬】、自由通路【右図⑭】
- 【地域創造支援事業】雀宮橋上駅舎整備【右図⑮】、図書館整備【右図⑯】



⑮雀宮橋上駅舎整備



⑭自由通路



⑯図書館・地域交流センター



⑩東口駅前広場



⑫駐輪場



④市道713号線